

- 問1 1979年から2009年にかけての店舗数の統計において、「中心地域型」と「郊外型」が占める割合の変化（構成比の推移）を視覚的に表現したい場合、最も適切なグラフの形式はどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）
- 2つのデータの間にある相関関係を、点の集まりによって示す「散布図」
 - 店舗数の実数値が、時間の経過とともにどのように増減したかを線で結んで示す「折れ線グラフ」
 - 各年代の合計を100%として、項目の内訳の変化を積み上げた長方形で示す「帯グラフ」
 - 特定の1年における店舗数の内訳のみを、円を分割して示す「円グラフ」
- 問2 日本のエネルギー供給の状況を示した資料において、2010年のエネルギー自給率は19.9%でしたが、2012年には6.0%にまで低下しています。この時期のエネルギー供給の内訳の変化について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
- 国内の石炭産出量が増加したことにより、これまで輸入していたエネルギーを国内産に切り替えた。
 - 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの供給割合が急激に減少したことで、自給率が押し下げられた。
 - 原子力発電の割合が縮小したことで自給率が低下し、不足分を補うために石油や天然ガスなどの輸入が増加した。
 - 水力発電がすべて停止したため、不足した電力を補うために隣国からの電力輸入を本格的に開始した。
- 問3 製造品出荷額の構成において、機械工業が約36.5%、化学工業が約20.7%、金属工業が約18.7%を占める工業地域を選択肢から選びなさい。この地域は、沿岸部に大規模な石油化学コンビナートが形成されていることで知られています。（2019年 山口県公立入試 類似）
- 中京工業地帯
 - 北九州工業地域
 - 阪神工業地帯
 - 瀬戸内工業地域
- 問4 日本の主要な空港における貨物取扱量の統計において、国際線貨物取扱量が1,900千トンを超え、2位以下の空港に数倍以上の差をつけて国内最大の国際物流拠点となっている空港はどこか、名称を答えなさい。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- 関西国際空港
 - 東京国際空港（羽田空港）
 - 成田国際空港
 - 中部国際空港
- 問5 都市の人口構造において「昼夜間人口比率」という言葉が使われます。この比率が100パーセントを大きく超える地域の特徴を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- 住宅供給公社による大規模な住宅団地が整備された地域であり、都心へ通勤する現役世代が多いため、昼間の人口が極端に少なくなっている。
 - 大規模な工場が立ち並び工業地帯であり、交代制勤務のために昼間と夜間の人口が常に一定に保たれている。
 - 都市の中心部にあたり、オフィスビルや商業施設が集中しているため、通勤や通学によって流入する人口が居住人口を上回っている。
 - 都市の郊外にあたり、豊かな自然環境を求めて移住する人が多いため、夜間に滞在する居住人口が昼間の活動人口を上回っている。
- 問6 日本の都道府県における人口移動の統計では、地域ごとに異なる特徴が見られます。東京都では転入者が転出者を大幅に上回る一方で、沖縄県では出生数が死亡数を上回る傾向が続いています。これらの状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- 東京都では社会増が著しく、沖縄県では自然増が見られる。
 - 東京都では自然減が著しく、沖縄県では社会減が見られる。
 - 東京都では社会減が著しく、沖縄県では自然減が見られる。
 - 東京都では自然増が著しく、沖縄県では社会増が見られる。
- 問7 日本における貨物輸送の現状とモーダルシフトの仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。なお、国内の拠点配置を示した資料では、日本の全地方に貨物鉄道の路線と拠点が網羅されているものとします。（2023年 東京都公立入試 類似）
- 二酸化炭素の排出量を削減するため、貨物列車による輸送から、機動性の高い営業用貨物自動車への転換が進められている。
 - 貨物鉄道のネットワークは維持が難しいため、現在では貨物ターミナル駅の設置は人口の多い関東地方と近畿地方のみに限られている。
 - 環境負荷を最小限にするため、工場から最終的な納品先まで、トラックを一切使用せずに鉄道のみで完結させる仕組みを指す。
 - 日本国内の全ての地方に、貨物鉄道の路線と、積み替えの拠点となる貨物ターミナル駅が設置されている。
- 問8 千葉県のような大都市に隣接する地域では、農業産出額のうち野菜が約37%、畜産が約29%を占め、米の割合を大きく上回っています。このような生産傾向が見られる理由として適切なものはどれですか。（2024年 石川県公立入試 類似）
- 都市部への輸送距離の短さを活かし、鮮度が求められる作物や需要の多い畜産物の生産に力を入れているため。
 - 大都市周辺は一年中気温が高く、米を作るよりも野菜を育てる方が土壌の性質に適しているため。
 - 政府の政策により、大都市の周辺地域では米の生産が法律で厳しく制限されているため。
 - 広大な平野部が少なく、大規模な機械を導入した米作りが物理的に不可能であるため。
- 問9 愛知県における工業の統計において、製造品出荷額等の内訳を確認すると、輸送用機械が56%を超えており、他県と比較しても圧倒的に高い割合を示しています。このような産業構造を持つ中京工業地帯の現状について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
- 広大な臨海部に大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が全産業を牽引している。
 - かつては鉄鋼業が中心であったが、現在はＩＣ（集積回路）などの電子部品生産に特化している。
 - 自動車関連の工場が数多く集積しており、特定の産業分野に大きく依存した構造になっている。
 - 印刷業や金属工業など、消費地に近い利点を生かした多種多様な中小工場が密集している。
- 問10 鹿児島空港や熊本空港の統計データによると、入国者の大半を韓国、香港、台湾などの出身者が占めています。例えば、鹿児島空港における香港からの入国者割合（41.8%）や、熊本空港における韓国からの入国者割合（58.6%）は、全国平均と比較しても非常に高い数値です。これらの空港に見られる特徴的な状況の説明として正しいものを選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
- 国際定期便のほとんどが貨物輸送に特化しており、観光目的の旅客による入国者の割合は極めて低い。
 - 近年はアジア圏との結びつきが弱まっており、代わってオセアニア地域からの入国者が最も多い割合を占めている。
 - アメリカやヨーロッパなどの遠方から入国した人の割合が大きく、世界規模の国際ハブ空港として機能している。
 - 近隣のアジアの国や地域と国際線で結ばれ、そこからの入国者が全国平均より高い割合を示している。
- 問11 日本の畜産業における肉用牛の飼育状況について、秋田県や鹿児島県などの統計では、1977年から2017年にかけて一戸あたりの飼育頭数が一貫して増加しています。このような変化が起きている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 秋田県公立入試 類似）
- 飼育農家の数は減少しているが、生き残った農家が経営の効率化を目指して大規模化を進めたため。
 - 国内の牛肉消費量が大幅に減少したため、農家が在庫として抱える牛の数が増加したため。
 - 若者の農業離れに歯止めがかかり、全国的に畜産を始める新規就農世帯が増えたため。
 - 政府がすべての農家に対して、一律に同じ頭数の肉用牛を飼育することを法律で義務付けたため